



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.36

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2006.夏

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

開館10周年記念企画展(第26回企画展)

「コアラ大陸オーストラリア～ふしぎな動物たちの世界～」

開催期間 2006年7月15日(土)～11月26日(日)



オーストラリアは長い間他の大陸と陸続きになっておらず、そのため独自の生物が発達しています。オーストラリアといえばコアラやカンガルーが有名ですが、彼らは哺乳類の中でも有袋類という独自のグループに属しています。系統的には全く別ながらオオカミにそっくりなフクロオオカミ、モモンガにそっくりなフクロモモンガというように、私たちが普段見慣れている動物たちとそっくりな姿をした有袋類も現れました。

有袋類以外にも、哺乳類でありながら卵を産むカモノハシなどの単孔類や生きた化石とも呼ばれるハイギョなど、オーストラリアには興味深い動物たちがたくさん生息しています。

企画展では現在のオーストラリアに生息する特徴的な動物たちと、このような独自の生物相を育んできたオーストラリアの5億年以上にわたる生命の歴史を紹介します。

コアラやカモノハシ、フクロオオカミなどオーストラリアの動物たちの剥製や骨格標本、触れるコアラの剥製、ネオケラトドゥス(肺魚)の生体展示、オーストラリアで発見された恐竜化石、体長4メートル以上にもなる巨大なカゲメガラニアの全身骨格化石など多くの標本が展示されます。この夏は自然史博物館でコアラ大陸オーストラリアをぜひ体験してみてください。

(学芸グループ 木村 敏之)

企画展「コアラ大陸オーストラリア～ふしぎな動物たちの世界～」では、いろいろなオーストラリアの動物たちを紹介します。ここでは企画展で展示される主な資料を見てみましょう。

コアラ

オーストラリアの動物の中でも最も有名で人気があるのがコアラではないでしょうか。以前、地面で眠るコアラが話題になりましたが、コアラは基本的に木の上で生活しています。コアラの前足に注目すると、まるで2本の親指があるように見えます。これは私たち人間などでは物を握るときに親指とそれ以外の4本の指が向き合った状態で握りますが、コアラでは前足の第一指及び第二指(親指と人差し指)とそれ以外の3本の指が向き合った状態で握るためです。またコアラの指先にははさるといふ爪が発達しています。これらは樹上生活への適応と考えられます。



©オーストラリア大使館 東京 (<http://www.australia.or.jp/gaiyou/photogallery/>)

ネオケラトドゥス

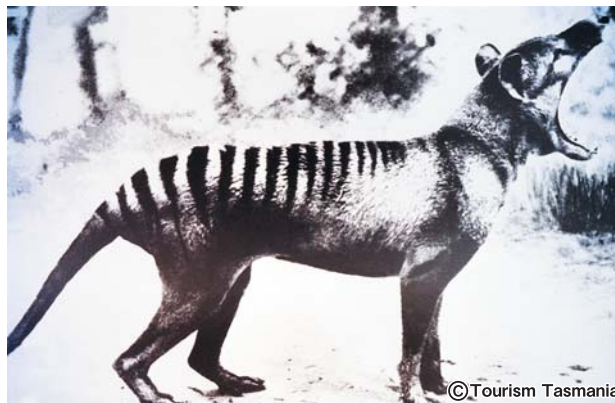
肺を持った魚である肺魚はシーラカンスなどとともに両生類にもっとも近い魚類と考えられています。肺魚の仲間にはオーストラリアの他にアフリカと南米に生息していますが、それらの中でもオーストラリアの肺魚「ネオケラトドゥス」は最も原始的な特徴をとどめています。企画展では「ネオケラトドゥス」のほか、アフリカ及び南米の肺魚を生体展示します。



©山本海水養魚研究所

フクロオオカミ

タスマニアタイガーと呼ばれることもあります。名前の通りオオカミやイヌにそっくりですが、彼らも有袋類でメスのおなかには袋(育児嚢)があります。また外見上でイヌとの大きな違いは、長くて付け根が太く、かたい尾を持っている点などがあります。オーストラリアでは最大の肉食性有袋類でしたが、1933年に捕獲され、1936年に動物園で死んだ個体を最後に絶滅したと考えられています。



©Tourism Tasmania

オーストラリアの恐竜

企画展ではたくさんの化石標本も展示されます。例えば写真のレアエリナサウラはオーストラリアから発見された恐竜化石の中でも、もっとも保存の良い標本の一つです。彼らは大きな発達した目をもっており、極圏の長い冬の暗闇に適應していたことが分かっています。企画展では、これ以外にも全長4メートル以上の世界最大のトカゲ「メガラニア」の全身骨格など、たくさんの化石によりオーストラリアの5億年以上にわたる生命の歴史を紹介します。

(学芸グループ 木村 敏之)



©Patricia Vickers-Rich

展示解説のお知らせ

自然史博物館では、来館者に展示物をより楽しんでいただけるよう、解説員が毎日定時解説を行っています。常設展示については、3つのコーナーを1日3回ずつ解説します。企画展や特別展開催時には、企画展示室での解説を1日4回行います。

また常設展示Cコーナーのカウンターでは、解説員が季節ごとにミニ展示を企画しています。定時解説以外でも展示に関する質問を受け付けています。

開館10周年の節目を迎え、解説員の制服のデザインを一新しました。装いも新たに張り切っていますので、どうぞお気軽に声をかけてください。
(解説員 高橋 弘美)

| 常設展示室 | | |
|--|-------------|---------------------------------------|
| Aコーナー | Bコーナー | C・D・Eコーナー |
| 地球の時代 | 群馬の自然と環境 | ・ダーウィンの部屋 ・自然界におけるヒト ・かけがえのない地球 |
| 10:00～10:30 | 10:30～11:00 | 11:00～11:30 |
| 13:30～14:00 | 14:00～14:30 | 14:30～15:00 |
| 15:00～15:30 | 15:30～16:00 | 16:00～16:30 |
| 企画展示室(企画展・特別展開催時) | | |
| ①11:00～11:30 ②13:30～14:00 ③14:30～15:00 ④15:30～16:00 | | |



自然史博物館探検隊のご案内

博物館の夜は神秘的です。博物館で一夜を過ごし、展示室だけでなく、館内のバックヤードにある実験室や収蔵庫に入って普段見ることのできない博物館の裏側を探検してみませんか。探検隊では、凍ったバナナで釘を打つ液体窒素の実験や、下の写真のようにガラスの床の下を探検することができます。皆さんの参加をお待ちしています。



ガラスの床の下を探検(17年度)

- 【期 間】 8月19日(土)18:00～8月20日(日)8:00
- 【対 象】 小学4～6年生
- 【定 員】 30名(応募者多数の場合は抽選)
- 【参 加 費】 1,000円(保険料・夕食代)
- 【申込用紙請求期間】
7月1日(土)～8月1日(火)必着
※80円切手と返信用封筒を同封して、
申込用紙を請求するか、当館エントランスの総合案内で請求してください。
- 【申込締切】 8月5日(土)必着

(総務普及グループ 武井 郁也)

収蔵資料より マツカサガイ (*Inversidens japonensis*) イシガイ目 イシガイ科

マツカサガイは、北海道から九州の各地の河川や用水路など流水域に生息する二枚貝で、日本固有種です。殻は卵円形をしていて、殻表には松笠(松ぼっくり)によく似たでこぼこがあります。

この貝は、特徴ある生活をする事で知られています。生活史の初期段階でドジョウやフナなどの魚の鰓やヒレにくっつき寄生生活をしたり、成長するとヤリタナゴなどのタナゴ類の産卵母貝となったり、一緒に生息する魚類と深いかかわりをもって生活しています。



ヤリタナゴ(常設展示)

近年、河川改修や水質の悪化により、マツカサガイは減少しています。県ではヤリタナゴとともに絶滅危惧I類に選定し、保護活動に取り組んでいます。

(学芸グループ 松本 功)



インフォメーション (7月~9月の予定)

開館10周年記念企画展(第26回企画展)
「コアラ大陸オーストラリア~ふしぎな動物たちの世界~」
 2006年7月15日(土)~11月26日(日)

7月 15日(土)~11月26日(日)
 開館10周年記念企画展(第26回企画展)
 「コアラ大陸オーストラリア~ふしぎな動物たちの世界~」
 15日(土) 企画展記念講演会「コアラ・タスマニアタイガーのきた道を探る」
 (Marsupials -past and present-) 通訳有り
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「三葉虫のレプリカをつくろう」

8月 6日(日) ファミリー自然観察会「夏の森林に生息する昆虫の観察」
 19日(土)~20日(日) 自然史博物館探検隊(3ページ参照)
 27日(日) 自然史講座「脊椎動物の進化1~生命誕生から絶滅まで~」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「バルーンアート・コアラくん」

9月 3日(日) 企画展記念講演会「コアラとその仲間たち」
 8日(金)~9日(土) 移動博物館(会場:伊勢崎市あずま公民館)
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「飛ぶタネの模型をつくろう」

利用案内

- 開館時間 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日、ただし8月は28日のみ休館)
- 観覧料 一般①500円/②700円、高校・大学生①300円/②400円
 ※①は通常料金、②は企画展開催時料金となります。
 ※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者1名は無料
 ※有料者20名以上は団体料金で2割引となります

凡例

- 📄 実験室行事
- 🌿 野外行事
- 📖 学習室行事
- ☎ 電話で申し込み
- 📧 往復ハガキで申し込み
- 👤 当日会場で申し込み

休館日

○印の日は休館いたします。

| 7月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | 1 |
| | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 |
| | 23 | ⑳ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| | 29 | 30 | ① | | | | |

| 8月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | 27 | ⑳ | 29 | 30 | 31 | | |

| 9月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | 1 |
| | 2 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 17 | 18 | ⑲ | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 24 | ㉑ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

群馬県立自然史博物館だより Demeter No.36

編集・発行 群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
 Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250
 ホームページ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>

Demeterは、地球環境保全のため
 古紙配合100%再生紙、大豆インクを使用しています。